

東部第一各校事務職員不定期日記(21/12/22 掲載)

インフルエンザ大流行！！



とうとう我が家に2回目のインフルエンザがやってきました。1回目は下の子が、2回目はひと月遅れで上の子がかかり、我が家も嬉しくない流行の最先端をいっています。さて、休みをどうするかですが、思い切って？かわいい我が子の為、特別休暇を頂くことにしました。特別休暇（子の看護休暇）とは、「養育する中学校就学の始期に達するまでの子の看護（負傷し、又は疾病にかかった子の世話をを行うことをいう）を行う場合1年（暦年）において5日（子が二人以上の場合にあっては6日）を超えない範囲内でその都度必要と認める期間与えられ、子の看護にあたっては、いわゆる専業主婦（夫）等職員以外に子の看護を行う者がいる場合であっても、職員が子の看護を行う必要があり、実際にその看護に従事する場合には、休暇が認められる。なお、休暇の単位は1日又は1時間若しくは30分とする（1時間又は30分で取得する場合は7時間45分で1日とする）」とされています。今回は、このありがたい制度に大いに助けられました。ところで、看護中に私がインフルエンザにかかったら何日も仕事を休まなければならない、仕事に支障が…とちょっと心配になりましたが、我が東部第一の協力体制は万全なので、きっと大丈夫！！助け船を出してくれることだろうとニンマリ（笑）してしまいました。でもその前に、



室長と海鼠♪♪



ちょっと一息・・・室長から質問されました。「ナマコの脳はどこにある??」ある本からの受け売りだそうです。さて、どこでしょう??私は、初めてナマコを料理しようとした時、ナマコに水をかけられ「ナマコめ～!!」とナマコとにらめっこしたことがあります。だから最初に思い浮かんだのは口?です。はたしてその答えは…「脳は無い」でした。実はナマコには心臓も肺もエラもない。そして、鼻も目も耳もないので、このような感覚情報を処理するための脳と呼べるような神経細胞の集積も必要ない、ということのようです。おまけに食べるものは砂（の表面のバクテリアなど）であり、呼吸をするのは口ではなく、お尻で海水を取り入れて行う（ということは!!）など、この摩訶不思議な特徴を持つナマコにいたく感動した趣です。でも、室長の眼目はその本に載っている次の句にあるとわたしはにらんでいます(^ - ^)。

徹頭徹尾せぬを身上海鼠かな 成瀬桜桃子

